

金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例（仮称）骨子案について

条例制定の背景、目的

背景

本市では、市域の約6割を森林が占めており、また非戦災都市であることから、金澤町家など木による多数の歴史文化資産を有しています。これまでも、これらの保存と活用に努め、木を用いた伝統工芸など生活の中にも木を取り入れてきました。

令和3年2月に「木の文化都市」を創出する金沢会議から『木の文化都市・金沢』の継承と創出に向けての提言書をいただいたことから、本市では、まちなみや生活に「木」を取り入れ、「木」が持つ優れた特性を生かす持続可能な仕組みを備えた都市の実現を目指した取組を進めているところであります。

今般、これらの取組を踏まえ、様々な場面で「木」が活用されることで生み出される都市環境や生活環境などの営みを文化として捉える「木の文化都市」を推進するため、本市としての基本理念等について定めた条例を制定する予定です。

目的

木は、木目の美しさや柔らかさなど、安らぎや癒やしの効果を有するとともに、断熱性や調湿性に優れ、幅広い建築物に利用されるなど、快適な生活空間の形成に貢献する資材であります。また、持続可能な再生資源であり、脱炭素社会の実現や地球温暖化の防止に寄与するものであります。

今年度、国においても、民間建築物を含む建築物一般で木材利用を一層促進するため、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が令和3年10月1日から施行されています。

本市では、固有の歴史的風土に培われた学術と文化、そして新たなものに目を向け、新たな価値を生み出してきた創造性あふれる文化的土壌にあります。今後さらに「文化都市 金沢」の魅力に厚みを持たせ、発展及び創造を進めていくために、木の文化を生かしたまちづくりを推進していきます。

まちなみや生活に「木」を取り入れることで、歴史、文化及び自然と調和した本市ならではの品格と魅力ある都市を実現することを目的とする

条例骨子案の概要

1 基本理念

- 1 興味、関心、適性等に応じて多様な形態で木に親しむ社会的機運を醸成する
- 2 誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会を実現する
- 3 市、市民及び事業者による相互の理解と連携の下に、協働して行う

2 役割

市の役割

- ・木の文化都市の継承と創出の推進に関し、総合的かつ計画的な施策の策定及び実施に取り組む

市民の役割

- ・木の文化都市について理解と関心を深め、日常生活を通じて自主的に取り組む

事業者の役割

- ・木の文化都市について理解と関心を深め、事業活動を行うに当たり、主体的に取り組む

3 市が推進する施策

木の文化都市の継承と創出の推進に取り組む意義の共有

- ・市民及び事業者の理解と関心を深めるとともに、その機運の醸成に努める

市の施設における積極的な木の活用

- ・市が行う建築物等の整備に当たり、率先して木材及び木材製品の利用に努める

民間施設等における木の活用の促進

- ・官民が整備する建築物等における木材利用の推進に関する必要な施策を講ずる

暮らしや生業の中での木の活用

- ・市民や事業者が暮らしや生業の中で広く木材を活用するよう、市民らが木に親しむ機会の提供に努める

木の好循環の創出

- ・木材に関わる者の持続可能な事業経営を図り、木の好循環を創出するよう努める

木の文化都市を支える産学官の推進体制の整備

- ・木の文化都市の継承と創出を推進する効果的な連携体制を整備するよう努める

人材等の育成

- ・木の文化都市の継承と創出を推進し、その支援を行う人材や団体を育成するよう努める

推進計画の策定

- ・施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、木の文化都市推進計画を策定する

財政上の支援

- ・木の文化都市に関する施策を推進するために必要な財政上の支援をする

4 木の文化都市を継承・創出する金沢会議

- ・木の文化都市の継承と創出の推進に関する施策を協議するため、金沢会議を置く
- ・委員は、木の文化都市の継承と創出の推進に関し識見を有する者のうちから、市長が委嘱する
- ・専門的な事案を協議するとともに、関係団体の連携強化を図るため、専門部会を置く。

施行期日

令和3年度3月定例会に上程し、令和4年4月1日の施行を目指します

木の文化都市推進計画の策定 構成案について

推進計画策定の目的、構成（案）

【目的】

木の文化都市推進計画を策定し、「木の文化都市・金沢の継承と創出」に向けた施策を総合的かつ計画的に推し進めていく。

【構成（案）】

第1章 推進計画の策定にあたって

第2章 金沢市の「木」を取り巻く現状と課題

第3章 「木の文化都市・金沢」を目指して

第4章 「木の文化都市・金沢の継承と創出」の6つの柱

第5章 エリア別の方針

第6章 計画の推進に向けて

章の構成

第1章 推進計画の策定にあたって

1. 金沢が「木の文化都市」を目指す意義と視野
2. 推進計画の策定経緯と位置付け
3. 国の動向
4. 「木」という素材

第2章 金沢市の「木」を取り巻く現状と課題

1. これまでのまちづくりと「木の文化都市」
2. まちなか区域における木造建築
3. 金沢市の森林と林業の現状
4. 金沢市の伝統工芸と木工産業
5. まちなか区域における緑の環境
6. 金沢市におけるSDGsの状況

第3章 「木の文化都市・金沢」を目指して

1. 「木の文化都市・金沢の継承と創出」のコンセプト
2. 将来像と目指す姿
3. 「木の文化」と「木の文化都市」の定義
4. 「木の文化都市・金沢」を継承し創出する方針

第4章 「木の文化都市・金沢の継承と創出」の6つの柱

1. 「木の文化都市・金沢」を推進する6つの柱
2. 6つの柱の概要
 - (1) 「木の文化都市・金沢」の継承と創出
 - (2) 公共施設での積極的な木の活用
 - (3) 民間施設への木の活用を促進
 - (4) 暮らしや生業の中での木の活用
 - (5) 木をめぐる循環型社会の確立
 - (6) 木の文化都市を支える金沢型推進体制の構築

第5章 エリア別の方針

1. 取組を進めるエリアの設定
2. まちなかゾーンの方針
3. 自然環境ゾーンの方針
4. 全区域の方針

第6章 計画の推進に向けて

1. 総合的なまちづくりを推進する体制づくり（全庁的な事業一覧）
2. 計画の検証

今後取り組むべき6つの柱

1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出
2. 公共施設での積極的な木の活用
3. 民間施設への木の活用を促進
4. 暮らしや生業の中での木の活用
5. 木をめぐる循環型社会の確立
6. 木の文化都市を支える金沢型推進体制の構築

1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出

令和3年度 木の文化都市の普及・啓発に向けた取り組みについて

- ① 7月 市民シンポジウム
- ② 9月 業界シンポジウム
- ③ 11月 歴史的空間再編コンペティション
特別企画「木の文化都市を語る」

1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出

木の文化都市・金沢

市民 シンポジウム

～木に親しみ、木の魅力を知ろう～

金沢市では「木の文化都市」の継承と創出として、まちなみや生活に「木」を取り入れ、歴史と調和した金沢ならではの魅力ある都市を目指しています。市民一人ひとりの暮らしに息づく「木の文化」とは。これからの「木」を取り入れた金沢のまちづくりとは。このシンポジウムを機会に一緒に考えてみませんか？

入場
無料

日時 令和3年7月31日(土)
13:00～15:30 (12:30開場)

会場 金沢歌劇座 大集会室 (金沢市下本多町6番丁27番地)
事前申込要 (定員100名)

※当日の模様は「金沢市公式YouTubeチャンネル」でも配信予定です。
※ご来場の際は公共交通をご利用ください。

プログラム

- 基調講演 (13:05～13:35)
講師：水野 一郎 氏 (谷口吉郎・吉生記念金沢建築塾塾長)
演題：「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向けて
- 取り組み事例紹介 (13:40～14:15)
「木に親しみ、木の魅力を知ろう」
- パネルディスカッション (14:25～15:25)
「今後の50年を見据えた金沢のまちづくり」
・ファシリテーター 水野 一郎 氏
・パネリスト 福光 松太郎 氏 (金沢経済同友会 代表幹事)
永井 三枝子 氏 (国造大学 OUIK 事務局長)
宮下 智裕 氏 (金沢工業大学 准教授)

主催 金沢市

① 市民シンポジウム

本市が目指す「木の文化都市・金沢」とは何か、またその実現に向け、取り組みの意義や方向性を広く市民に発信

- ・ 基調講演
- ・ 事例紹介
- ・ パネルディスカッション



1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出

② 業界シンポジウム

「木」を活用した金沢のミライを考えよう

- ・ 基調講演：全国の都市木造の動向
- ・ パネルディスカッション
：木を取り巻く業界の最新事例紹介

また午後の部では、「木を取り入れた公共デザイン」を学生の自由な発想によるプレゼンテーションを実施



金沢市では「木の文化都市」の継承と創出として、まちなみや生活に「木」を取り入れ、歴史と調和した金沢ならではの魅力ある都市を目指しています。

「木」が持つ特性を多角的に再評価し、「木」がもたらすミライの可能性を一緒に考えてみませんか？



令和 3 年 9 月 18 日(土) 金沢東急ホテル・ボールルーム
(金沢市金町2丁目1-1)

事前申込要・入場無料
(定員100名)

【第1部】10:00～12:00 (9:30開場)

●基調講演 「木の文化都市を目指した全国の都市木造への動向」
講師 藤原 幹雄氏 (東京大学教授)

●パネルディスカッション
「木」がもたらすミライの可能性～技術・循環・コミュニティ～

ファシリテーター 藤原 幹雄氏
パネリスト 小林 真和氏 (株式会社 竹中工務店)
横屋 康氏 (有限会社 野建築工房)
大島 芳彦氏 (株式会社 ブルースタジオ)

【第2部】13:00～17:30 (12:30開場)

●第1回「木の文化都市・金沢ミライまちづくり」学生提案事業
公開プレゼンテーション「木」を取り入れた公共デザイン」

審査員 宮下 智裕氏 (金沢工業大学准教授)
藤原 幹雄氏 (東京大学教授)
大島 芳彦氏 (株式会社ブルースタジオ)
山岸 敬広氏 (一社石川県建築士事務所協会)
坪田 英孝氏 (金沢市都市整備局長)

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容を一部変更する可能性があります

※当日の様子は「金沢市公式YouTubeチャンネル」で配信予定です

主催 金沢市

1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出



③ 歴史的空間再編コンペティション 特別企画「木の文化都市を語る」

「木の文化都市」をキーワードに、
多方面から都市の可能性を考える
「円卓会議」を開催

- ・「木の文化都市」の取組の発信
- ・本市が取り組む意義の共有
- ・木を取り入れたまちづくりの可能性 など

全国の建築学生が金沢に集い学び合う「歴史的空間再編コンペティション」の第10回開催を記念し、これまでの歴代審査員を交え「木の文化都市」をキーワードに、多方面から都市の可能性を考える円卓会議を開催します。

日時 令和3年11月21日(日)
10:00～12:00 (9:30開場)

会場 金沢21世紀美術館シアター21
(金沢市広坂1丁目2-1)

申込要・入場無料(定員80名)

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容を一部変更する可能性があります
※当日の模様は「金沢市公式 YouTube チャンネル」で配信予定です

主催 歴史的空間再編学生コンペ実行委員会・金沢市

プログラム

円卓会議

「木の文化都市を語る」

- 登壇者
- 妹高 和世氏
(SANAA/横浜国立大学大学院Y-GSA教授)
 - 陣内 秀信氏
(法政大学特任教授) ※オンライン
 - 腰原 幹雄氏
(東京大学教授)
 - 竹本 吉輝氏
(株式会社トビムシ代表)
 - 宮下 智裕氏
(金沢工業大学准教授)
 - 山野 之義
(金沢市長)

■モデレーター

- 塚本 由晴氏
(アトリエ・ワン/東京工業大学大学院教授)



1. 「木の文化都市・金沢」の継承と創出

参加者に対し、アンケートを実施

- **幅広い年代**の参加
- 所属は木に関連する仕事に従事する人からまちづくりに関心のある人など幅広く参加
- 参加者全てが「木の文化都市」を進めることについて良いことだと感じている

①②③ともに当日の様子は「金沢市YouTubeチャンネル」で配信
延べ**視聴数は2,000回超**

2. 公共施設での積極的な木の活用



計画的な施設整備
公園、緑地、街路樹の充実

2. 公共施設での積極的な木の活用

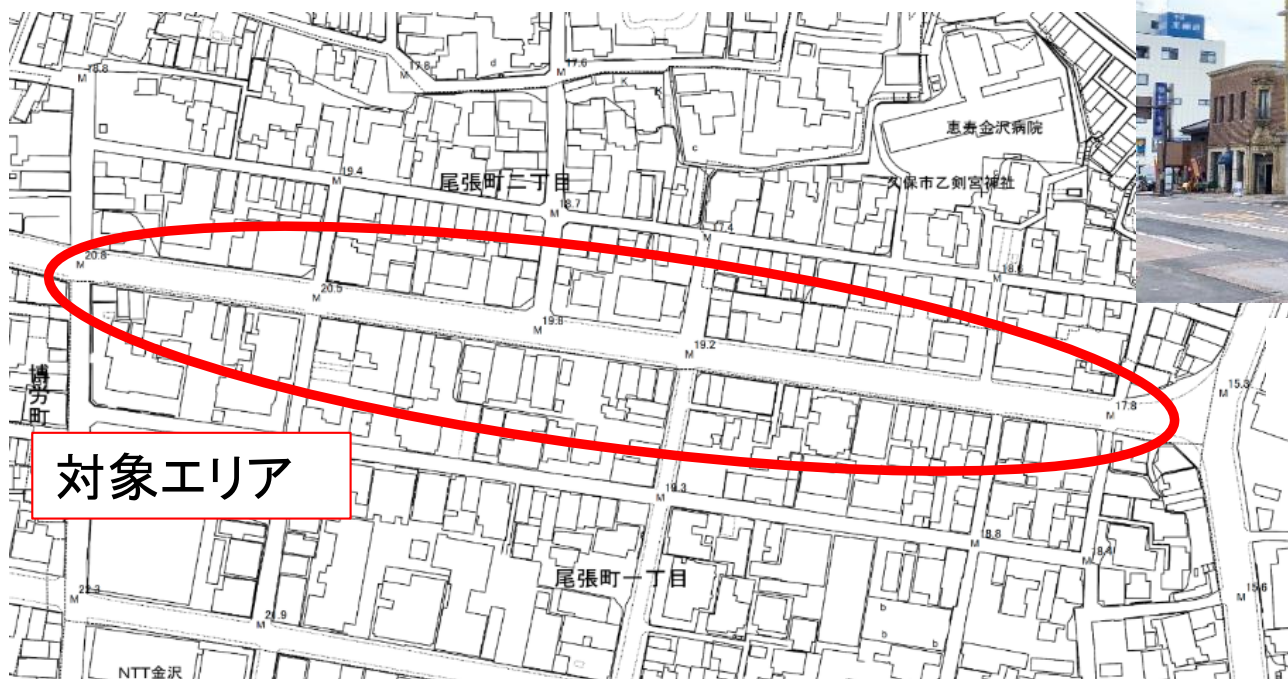


金沢 KANAZAWA
MIRAI NO MACHI CREATION CENTER
未来のまち創造館

令和3年8月開館

3. 民間施設への木の活用を促進

歴史的建築物を継承していくための支援の拡充
中高層建築物における木の活用に向けた支援制度の創設



▲民間建築物（建築プランイメージ）

4. 暮らしや生業の中での木の活用



木に関わる職人の育成
子供の頃から木に触れる環境づくり

5. 木をめぐる循環型社会の確立



木に関する各分野の課題の共有と連携
 木材コーディネーターの育成及び活用

6. 木の文化都市を支える金沢型推進体制の構築



産学官が融合した 推進体制づくり

- 木に関わる業界との意見交換
- 課題の抽出と情報共有
- 市の施策に向けて、業界との連携を確認

